

平成12年

1月5日
第2号

浜風通信

第2号
発行所：茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり懇話会事務局
(日本工営株式会社 地域計画部 東京都千代田区麹町5-4 TEL 03(3238)8183)

○講演会

海外・国内の先進事例紹介
～バリアフリー、ユニバーサルデザイン～

11月20日(土) (PM2:00～PM4:00)



1. 海辺の効用
 - 1) 産業革命と海水浴
 - 2) 富国強兵と海水浴
 - 3) 空間的、情緒的、経済的資質
2. 新しい社会システムと海辺
 - 1) 海辺の利用形態
 - 2) 人々の行動欲求と海
 - 3) 21世紀のキーワードと海との係わり
3. 世界の先進事例と茅ヶ崎の海辺
 - 1) ハワイ：地域活性化方策の戦略
 - 2) アメリカ西海岸及びイギリスのプレジャーピア整備
 - 3) デンマーク：高齢者・障害者を考慮した海洋性リゾート整備

平成十一年十一月二十日(土)の午後二時～午後四時に、茅ヶ崎市役所庁舎7F大会議室におきまして、茅ヶ崎(中海岸地区)の浜辺づくり懇話会の委員長である近藤健雄先生(日本大学 理工学部 海洋建築工学科 教授・工学博士)から、海岸利用の歴史から始まり、多様化する海のレクリエーション活動や、これから向かえる二十一世紀に向けて、少子高齢化や地球環境問題等のキーワードと海との係わりについて、お話を頂きました。

十一月二十日(土)
日本大学 近藤健雄先生
講演会の開催

講演会には40名のご参加を頂き、講演会終了後、貴重なご意見・ご感想を頂きました。日頃茅ヶ崎海岸に接している地元の方々ならではの、海岸の状態や変化等を教えていただきました。また、今回のご意見も含めて、今後懇話会委員のメンバー以外の方々からも貴重なご意見を頂いて、整理をし、中海岸の浜辺づくりに取り組んで行きたいと思っています。何かお気づきの点がありましたら、どしどし懇話会の事務局の日本工営(株)までご連絡下さい。



茅ヶ崎の浜辺づくり講演会

海外・国内の先進事例紹介

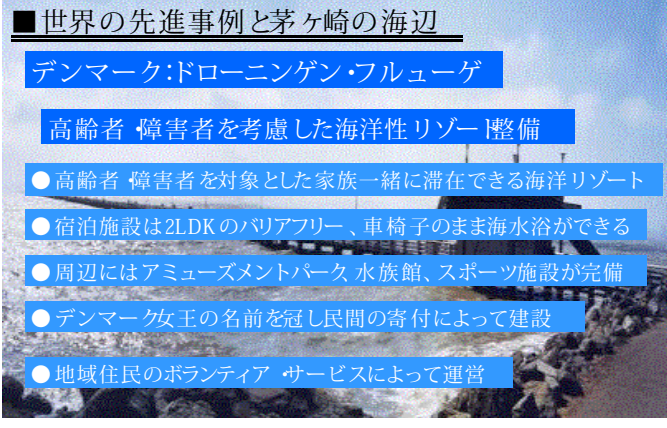
～バリアフリー・ユニバーサルデザイン～

日本大学理工学部
海洋建築工学科
教授 近藤健雄

●上の写真の車椅子は「ランディーズ」といって、アウトドア用の車椅子です。水にも浮くことができます。



●講演会の様子です。



- ### ■世界の先進事例と茅ヶ崎の海辺
- デンマーク:ドローニンゲン・フルューゲ
 - 高齢者 障害者を考慮した海洋性リゾート整備
 - 高齢者 障害者を対象とした家族一緒に滞在できる海洋リゾート
 - 宿泊施設は2LDKのバリアフリー、車椅子のまま海水浴ができる
 - 周辺にはアミューズメントパーク 水族館、スポーツ施設が完備
 - デンマーク女王の名前を冠し民間の寄付によって建設
 - 地域住民のボランティア サービスによって運営

●世界の先進事例としてデンマークの海洋性リゾートについてのお話を頂きました。

第3回 懇話会
1月29日(土) 13:30～16:00
茅ヶ崎市分庁舎5F E会議室
・懇話会の活動内容の広報方法
・メンバー発表
・意見交換

第4回 懇話会
2月5日(土) 13:30～16:00
茅ヶ崎市分庁舎5F E会議室
・環境・利用面について
・メンバー発表
・意見交換

第5回 懇話会・現地見学会
2月26日(土) 13:30～16:00
(会場は未定)
・現地見学会
・課題マップの作成

○今後のスケジュール

事務局・意見に対しては、広報の方法も含めて次回の懇話会で事務局より提案させていただきます。

茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり懇話会

意見・市民の意見を聞いてくれるのはよいのですが、最終的な落としどころはどうなるのか?と思いました。

意見・前回の講演会で懇話会だけではなく、それ以外の方からのご意見もということですが、先生は皆さんのボランティアで集まってもよいかということですが、みなさんが興味を持ったということがよいのではないかと思います。たまたま危ないというところで結束し、それが利用というところまで広がりがそれが民意で一つの考え方ができたということが良いのではないかと思います。

意見・茅ヶ崎市新総合計画では、市に都市環境、産業振興という点で提案をしました。このように一つにまとまらなくても、提案という形で良いのかと思います。また、新総合計画の意見を集める場合には、一般のみなさんの意見の収集は、インターネットと市役所に意見書を置いていました。



例-レジャー施設



例-防災拠点

用途

- ・海上空港
- ・物流センター
- ・廃棄物、下水処理場
- ・漁業基地
- ・防災拠点
- ・レジャー施設

特徴

- ・潮の流れを阻害することが少ないので、生態系等自然環境への影響も少なくすみます。
- ・地震による影響はほとんどありません。
- ・浮体構造物の内部空間がいろいろな形で活用できます。既存の施設・機能を稼働させながら、拡張もできます。
- ・浮体構造物の制作と係留装置やアクセス等の工事が同時にできるので工期が同時にできるので工期の短縮が可能です。

メガフロート

ギリシヤ語で巨大という意味のMEGAと英語の浮体という意味のFLOATを組み合わせた造語で、「超大型浮体式海洋構造物」意味をいいます。

トピックス1 メガフロートとは?

第2回懇話会で「メガフロート」についてのお話が出ましたので調べてみました。

●第1回懇話会 講演会 第2回懇話会 の日程を終えました。懇話会にて委員の方々の茅ヶ崎海岸への思いは、個人個人により視点は様々ですが、とても大きな存在であるということが分かりました。

十一月二十日に開かれた講演会では、委員の方々だけではなく、茅ヶ崎市内にお住まいの方、また市外の方も来ていただき40名のみなさんにお集まり頂きました。ここでも茅ヶ崎の海に対して、侵食に対する提案や利用面においてのご意見やご感想等を頂きました。

今回の懇話会や講演会を通して、海の近くで生活している方や、いつも海に接している方から、なかなか気づくことが出来ない海の変化や状態等を教えていただき、私どももたいへん勉強になりました。

上に「茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり懇話会」の、これからのスケジュールを示しました。一月二十九日は当初は現地見学会の予定でしたが、みなさんのお話をもっとお聞きしたいと思ひまして、懇話会に変更し、委員の方からお話をさせていただく時間にして思っています。

この浜風をお読み頂いた、浜辺(中海岸地区)づくり委員以外の方も、有難うございました。ご意見・ご感想等ございましたら、事務局までご連絡して頂けたらと思います。

今年は20世紀最後の年でございます。21世紀に向けて、来年もみなさまと一しょに茅ヶ崎の浜辺づくりを考えていきたいと思います。

茅ヶ崎の浜辺(中海岸地区)づくり懇話会 事務局
(日本工営株式会社 地域計画部)
03-3238-8183

